



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

聖天様にお任せする

本堂部長 杉本真海

当山の経本の信者の心得に、「参詣は細く長く絶えず続け、参拝中は尊天の御加護を深く信じて、一心不乱に祈ること」とあります。

「一心不乱に祈る」という言葉は、雑念を捨て聖天様にお祈りをし、結果を全て聖天様にお任せするということとなり、結果を全て聖天様にお任せするということになります。

「全てお任せする」というのが肝でありまして、一生懸命に狭い範囲でお祈りするというのは本来の信仰ではないということです。

もちろん、切羽詰まって頼れるものが聖天様しかないという状況になりますと、雑念を捨て冷静に状況を俯瞰しながらお祈りをするというのも難しいものかもしれません。

そのような状況であっても救いの手を差し伸べて下さるのが聖天様であります、いつまでもその狭い

範囲のお祈りに固執をして、ここぞという時だけギャングルのような信仰の仕方をしてしまうと、本来の導きに気付かず、時には本質的に願っていることとは逆方向に物事が進んでしまう可能性もあります。そこで大切になるのが「参詣は細く長く絶えず続ける」ということになります。

細く長く絶えずつづけ、多くのご利益、お導きを目の当たりにすることで、自ずと「尊天の御加護を深く信じる」ことに繋がります。

「尊天の御加護を深く信じる」ことが出来ていけば、大きなピンチの際も物事の過程にとらわれず、安心して結果を聖天様にゆだねることが出来るでしょう。

全てをお任せするのには人間関係と同様に、信頼関係が必要でありますので、日ごろから聖天様とのご縁を深め、信頼関係を築き、ここぞという時にもたくさんのご利益を頂けるように過ごしていきたいものです。

聖天様のお導きが得られれば、必ず良い方向に物事は進んでいくでしょう。

八月御縁日大法要・行事紹介

灯明講

八月二十日(金) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

八月二十日、灯明講大法要を執行致します。

仏教においてお灯明は智慧の象徴とされており、お灯明をお供えすることにより、尊天様の

智慧をいただくと同時に自分の善い心に光を当てることとなります。そのような心を抱き、日々のお勤めをされることにより、尊天様のご利益をいただけることとなります。

また、昨今、自然災害において停電が増えております。灯ともつて当たり前あかの『灯り』に対する意識をこの機会に見つめ直すのもよいかもしれません。

法要当日、一般参拝は出来ません。ライブ中継を行いますので、ご自宅でご一緒にお勤めください。(詳細は三面参照)



待乳山便り

地蔵供養会 報告

梅雨空も忘れるような、晴天に恵まれた六月二十四日、地蔵尊供養会を執行いたしました。

本年も一般参拝は自粛いただき、僧侶、総代ご随喜のもと、歡喜地蔵尊ならびに庭地藏尊を供養いたしました。



札盆の配布を中止します

七月一日より御祈禱札に添えて授与しております札盆の配布を、中止させて頂いております。

札盆とは、尊天様のお札を床やテーブルなどに直置きしたときなどに粗末にしないため御祈禱札の下敷いてある木のお盆です。

もちろんお盆ですのでお宮やお札立てに入れておまつりする場合には必要ありません。

札盆がかさばる、お宮に入れづらいなど皆様からのご要望が多い事、他の寺社でもお札のみの授与が多い事、また昨今の環境意識の高まりを考慮して配布の中止を決断致しました。

なお今後も札盆を希望される方には、今まで通り

お授けしますので御札受け取りの際に受付でお申し付けください。

「いちよう」をリニューアル致します

九月号より「いちよう」の紙面をリニューアル致します。皆様のご要望や、時代ニーズの変化に対応したもので、目指したのは見やすく、読みやすく、より詳細にお伝えする為です。

額堂にて「水」の販売を開始致しました

近年は真夏日より、猛暑日が多くなってまいりました。信徒様のご要望に応じて、額堂にて水のペットボトルの販売を開始致しました。

身体の中の水分が不足しますと、熱中症、脳梗塞、心筋梗塞など、さまざまな健康障害のリスク要因となります。ご利用いただければ幸いです。

なお、参道や本堂でのご飲食はご遠慮いただき、額堂内でゆっくり休憩されます様、ご理解ご協力のほど、何卒お願い致します。



1本150円
額堂にて販売中

外番 玉置 克也

早寝早起き朝ごはん



タイトルの「早寝早起き朝ごはん」は平成十八年から文部科学省が、子供たちに規則正しい生活習慣（十分な睡眠、バランスの取れた食事、適切な運動）を培うために推進している取組です。

還暦を過ぎた今、待乳山聖天本龍院・外番として正に第二の早寝早起き朝ごはんを実践真直中に私はいます。この仕事が始まったところ、外番の先輩大塚さんから、日本三大聖天を教えてくださいました。東京浅草、埼玉妻沼、そして奈良生駒（私の郷里は奈良県吉野郡十津川村）・・・強い縁を感じました。

そして四か月が過ぎた現在。早起き（四時）にもすつかり慣れ？↓そのためには、早く寝るようになり、↓朝早い仕事だから、お腹が空き、当然朝ごはんをしっかり摂りとても美味しい😊このゴールデンサイクルのお陰で、心身共に健康であることを実感しています。待乳山本龍院での仕事をいただいたからこそ成り立つ話であり、聖天様、本龍院に関わる全ての皆様に心より感謝申し上げます。

コロナに打ち勝つためにも、早寝早起き朝ごはんをお勧めします。



仏具解説「数珠の起源」

ご自宅や本堂でお勤めされるときに用いられる「数珠」、「念珠」の起源はいつ頃だったのでしょうか。所説ございますが三千五百年以上前のバラモン教の聖典に「連珠」と記述があります。また「ジャパ・マラー」(＝祈りの言葉を口にする・花輪)という意味の道具があり、それが数珠の原型となった説が有力だそうです。ジャパ・マラーは西へ伝わり、イスラム教のミスバハ、キリスト教のロザリオ、東へ伝わり仏教の数珠になったと言われています。

さて、日本への伝来についてですが、こちらも所説あり五三八年、五五二年などがあります。百済より仏教伝来と同じ時期とされますが、文献上では七四三年、法隆寺の記録に記載されているそうです。

当時はまだ、一部の僧侶や限られた貴族の間でしか使用されなかったそうです。一般の方に普及しはじめたのは、仏教が民衆化した平安末期から鎌倉時代以降と言われ、在家の方が普段の生活の中に実践できる教えを説く宗派が生まれてきた事が、一つの契機になったと言われています。

江戸時代、幕府は宗教統制の一環として寺請制度を設け、その頃に数珠の売買が公許され、解説書が登場した事も数珠の普及に大きく寄与されたのではないかと考えます。禅僧のみで使用されていた片手念珠が普及したのもこの頃になります。

諸行事参加について

コロナ禍が続いておりますが、現在の諸行事の参加ならびに申込方法をお知らせいたします。

◎朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会を予約制となっております。

朝まいり会は毎月一日から七日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は一日十名です。写経の会は第二日曜日とその前日の土曜日の計二日、それぞれ定員二十八名で午前十時のみの開催となります。

いずれも毎月十五日より、翌月分のご予約を専用電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。

予約電話番号 080-7419-1297

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。

<http://www.matsuchiyama.jp/zasamairi6.html>

◎諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行ないます。ライブ配信がございますので、ご利用ください。

お申込み頂いたお札、お供物等は法要終了後より受け取り可能です。

<http://www.matsuchiyama.jp/houyoulive.html>

◎日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。

※今後の情勢に応じて、変更する場合がございます。

八月行事予定

八月の行事につきましては、新型コロナウイルス対策のため原則中止または縮小の予定ですが、状況により変更する可能性があります。追ってホームページ上で告知をいたします。

灯明講

八月二十日（金）午前十一時

講金 一、五〇〇円也

仏の智火をあらわす灯明を供養し、各々の身体健康、家内安全を祈願します。

※右記法要は僧侶のみで執行し、ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤めをお願い致します。

朝まいり会

八月一日〜七日

午前八時から八時半

会費

五〇〇円也

（現在、朝まいり会費はいただいておりません）

本堂では僧侶のみでお勤めいたします。朝まいり会員向けにインターネット配信を行います。

日曜勤行

中止となります。

写経の会

中止となります。

坐禅の会

中止となります。

合同大般若法要

八月二十五日（水）

午前十一時

法要料 五、〇〇〇円也

法要は執行いたしますが、ご信徒様におかれましてはご自宅でのお勤めをお願い致します。

九月の行事

御縁日大法要

開山会法要

九月二十日（月）

午前十一時

講金

本年度は未定

法要は僧侶のみで執行し、ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤めをお願い致します。

なお本年度のお抹茶の接待はございません。

ご祈禱のご案内

祈禱料

聖天様独特の供養法で

ある浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

別座祈禱 壱万円（一週間）

浴油祈禱 三千五百円（一週間）

華水供 五百円（一日）

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、

出仕の僧侶が声明をお唱えすること、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は iryuu@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。